

破天荒

教宣部

4955号

2013年
6月24日

化学一般京滋地本
全竹中労働組合



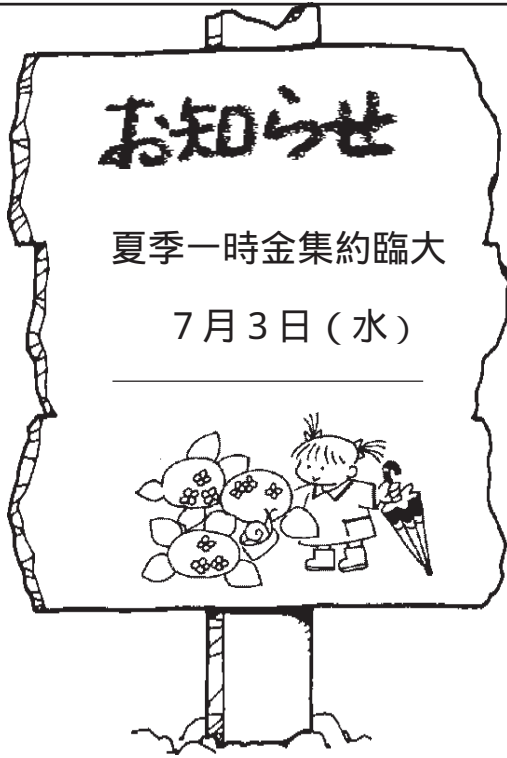
この先の展望が見えない不安 ＝ 夏季一時金集約 ＝

6月21日、夏季一時金2回目の団体交渉を行いました。組合の主張する実績月数は2・4・1・2カ月ですが、リーマンショック以降5年連続して実績割れの2・2・4カ月。不満ではありませんが、オプトを除いて売上げ回復していない状況で今回は集約にします。

支給日7月5日

組合には回答書で2・2カ月が提示され、一発回答のままで集約。各社の非組合員の月数は支給されるまで分からない(各社総務担当者の発言)査定結果はこれから・・・ということになります。

しかし、7月5日支給は決定です。オプト とシス



テムxの差は大きく、各社毎で業績連動による決定は「安定した一時金」と正反対の結果になっています。執行委員会では、組合として今後も安定した一時金を求めていくことが大切と再確認しました。

業績の責任

各社、リーマン以降に今の業績に至っているのはなぜ?と質問しました。

(電子) 国内の設備投資落ち込み。海外は円高。業界

の値引き競争。海外生産していないため価格競争で勝てない。

(オプト) メディカル業界が好調で独占に近い形で売れている。

(システム) 営業力が落ちてきたことが一番大きいという答えです。

優秀な営業マンを辞めざるを得ない状況まで追い込んだこと、技術力の問題、若い人を採用してこなかったツケ、などは発言されませんでした。同じように頑張っているのに業績に大きな差が出てくるのは、従業員の責任と云えるのでしょうか。従業員の一時金に業績を反映させることに納得できません。業績の責任は経営者にあるのではないですか。

お先真っ暗

オプトは明るいので別です。電子は糸測センサ、ETCセンサのクレーム処理分のマイナスが影響してきます(今も影響しています)

ジェット桐生

先日、娘の応援のため陸上競技場に行った時のことです。競技場の応援席に入る通路が人の壁になり入れない、仕方ないなあと思いつつ背伸びしてトラックを見ると今話題の桐生の登場。場内は異常な盛り上がり緊張感に溢れていました。

心・技・体

客良し・会社良し・従業員良し：建前ではこうなっていて中身がない。

新人を入れたからといって技術の伝承ができるのか?売り子を増やせば売上げが伸びるのか?世間が良くなれば竹中の業績も良くなるか?とも思っているのか?判子を多数で押せば

図面の間違いが減って品質が上がるとも思っているのか?

この一時金、心や誠意を感じる交渉姿勢でも金額でもなかったよなあ。もう少し

巧くやれよ(やる気のない)労務担当。

心だけではx、技と体だけでもx、みつつが揃わなきゃ何の意味もない。

天気は晴れところにより曇り、または暴風雨であつたとしても、同じ場所が年中暴風雨になるなんて有り得ない。

先日、娘の応援のため陸上競技場に行った時のことです。競技場の応援席に入る通路が人の壁になり入れない、仕方ないなあと思いつつ背伸びしてトラックを見ると今話題の桐生の登場。場内は異常な盛り上がり緊張感に溢れていました。

スタート音と共に一斉に走者が走り抜けました。桐生君がダンストップ先頭に躍り出ました。200m走なので20数秒間だけのドラマでした。競技場全体が釘付け状態、やはりスーパースターなのだ実感しました。日本人が100m走で10秒をきる事が出来るのか、ただの陸上界のだけの話ではない、桐生君の走りを見てそんなこと実感しました。